

2026年3月修了予定者 修士論文・特定課題研究報告書発表会プログラム

セッション	時間	教室	発表者	題目
1	9:50-9:55	201	大久保研究科長	オープニング
	10:00-10:30	201	松浦栄亮	2次元同種写像を用いた耐量子安全なコミットメントスキームの構成に関する研究
		202	須田光	スマートホーム向け規格Matterの競合についてのセキュリティ問題
	10:30-11:00	201	水上昌大	耐量子安全なゼロ知識サムチェックプロトコルの構成に関する研究
		202	市川正美	Multi-target Coverage-based Greybox Fuzzing
	11:00-11:30	201	佐藤龍	暗号化C2通信検出用マルチビューモデルの分析及び改善に関する研究
		202	市原知治	LLM活用による受委託セキュリティ点検の判定一貫性向上に向けたシステムの提案
	11:30-12:00	201	余澤昊	大規模言語モデルのCTF求解能力に関する研究
		202	吉村隼哉	CI/CDパイプラインの実行履歴に基づく完全性検証手法の提案と実装 —PBOMとin-totoフレームワークの統合によるアプローチ—
2	13:00-13:30	201	武内弾	セグメンテーションとネットワーク仮想化技術を活用した安全なインターネットの構成方法の提案と検証
		202	福井恵悟	標的型敵対的サンプルを用いたCAPTCHAシステム
	13:30-14:00	201	二神豪	自動運航船のサイバーセキュリティ対策のためのMASS-BOMの提案
		202	藤井舞*	SSVCを活用したLLMによる社内システム脆弱性管理効率化の提案
	14:00-14:30	201	中井太郎	在宅IoMT利用における家庭用ネットワークセキュリティ—患者・家族向けガイドの設計と検討—
		202	西村太孝	AI生成したプログラムコードの識別に関する研究
3	14:45-15:15	201	木下裕貴	業務委託先を含めた情報セキュリティ対策促進のための二段階アプローチの提案—契約交渉フェーズと運用フェーズ—
		202	四方隆之介	フォームの入力制限に対して長さを最適化した敵対的XSSに対する考察
	15:15-15:45	201	対馬亜矢子	中小SaaS事業者のセキュリティ運用を可視化する透明性フレームワークCyHACCPの提案
		202	伊藤朝美	悪性ブラウザ拡張機能の検知を目的としたEDR支援手法の提案
4	16:00-16:30	201	芦田 高穂	SNSにおける正確ではないと認識した情報の共有低減策に関する研究
		202	近藤哲史	生成AIの著作権問題について—AI生成物の著作物性を中心として—
	16:30-17:00	201	谷野要	DevSecOps実践における「Secの孤立」に関する研究調査
		202		予備
	17:00-17:05	201	桑名学長	クロージング
		202		予備

■ *印は特定課題研究報告

座長は原則として博士後期課程学生